



核酸代謝関連酵素 抗体一覧

5FU系抗がん剤の効果予測や がんの予後予測に関連する酵素の抗体

- 研究用試薬 -

生体の核酸代謝に関連するkey enzymeとして、チミジル酸合成酵素(Thymidylate synthase/TS : EC 2.1.1.45)、ジヒドロピリミジン脱水素酵素(Dihydropyrimidine dehydrogenase/DPD : EC 1.3.1.2)、リン酸化酵素であるチミジンフォスホリラーゼ (Thymidine phosphorylase/TP : EC 2.4.2.4)及びオロチン酸ホスホリボシル転移酵素(Orotate phosphoribosyl transferase/OPRT : EC 2.4.2.10)が知られています。

消化器がん、乳癌などの固形がんに対して汎用されている抗がん剤に、代謝拮抗剤の5FUがありますが、これらの酵素は5FUの活性化、代謝、分解に関連する酵素としても知られており、5FU系抗がん剤の効果との関連性が報告されています。さらにTS、DPD等はがん患者の予後に関連する因子としても報告されています。

※一律15,000円

製品コード	製品名	定価(税抜き)	アプリケーション	容量	小容量※
10409	Anti- TS (ATYMSMAB) Mouse IgG MoAb	¥58,000	IHC, WB	100µg	10µg
10411	Anti- DPD (ADPYDMAB) Mouse IgG MoAb	¥58,000	IHC, WB	100µg	10µg
10413	Anti- TP (ATYMPMAB) Mouse IgG MoAb	¥58,000	IHC, WB	100µg	10µg
28135	Anti- OPRT Rabbit IgG Affinity Purify	¥58,000	IHC, WB	100µg	10µg

	#10409 Anti- TS	#10411 Anti- DPD	#10413 Anti- TP	#28135 Anti- OPRT
乳癌		全ての染色には加熱による抗原賦活前処理が必要です。 (95~99°C, EDTA含有トリス緩衝液, pH 9.0またはEDTA液, pH 8.0, 40分間)		
肺腺癌				 肺扁平上皮癌
胃癌				
	 大腸癌	 膵癌	 膵癌	 大腸癌

写真提供: 神戸大学 大学院 保健学研究科 病態解析学領域 鴨志田伸吾教授

取扱い販売代理店